

本文修正票

p 20*****傍線部分は削除・イラスト修正

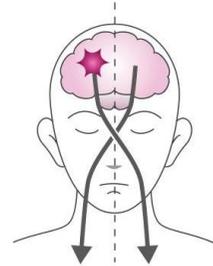
●主な後遺症

運動障害

最も多いのが身体の麻痺（→P.57）です。

大脳の右半球に左半身の運動と右顔面の動きを担当する領域があるので、そこが障害

されると（左図参照）右側の顔と左側の手足に麻痺が現れ、左脳の運動領域が障害されると左側の顔と右側の手足に麻痺が起こります。

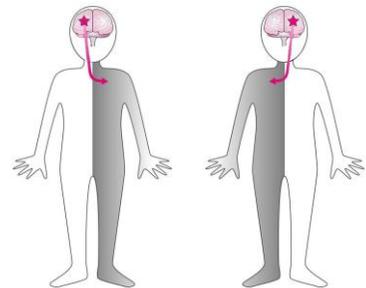


p 57*****傍線部分は削除 太字下線部分は訂正・加筆、イラスト修正

(2) 麻痺 〈本文4行目〉

.....右脳の運動野は、~~右側の顔面と~~、左側の手・足・体幹の領域の筋肉をコントロールします。一方左脳の運動野は、~~左側の顔面と~~右側の手・足・体幹の領域の筋肉をコントロールします。顔面は障害の発生部位によって、同側・反対側いずれにも麻痺が出る可能性があります。

このように顔面脳の障害側と手・足・体幹が左右入れ替わっているのは、運動野と筋肉を結ぶ神経が、首の部分で交差しているからです。右脳から顔面に向かう神経は真一直ぐ降りる感じで顔面の筋肉とつながっていますが、手・足・体幹に向かう神経は、.....



p 59*****太字下線部分は訂正・加筆、イラスト修正

(4) 高次脳機能障害（本文14行目）

左片麻痺で「反側空間無視」がある出現した場合、お皿の左右半分の食物のみを食べ、~~右左~~半分の食べ物を無視する.....

